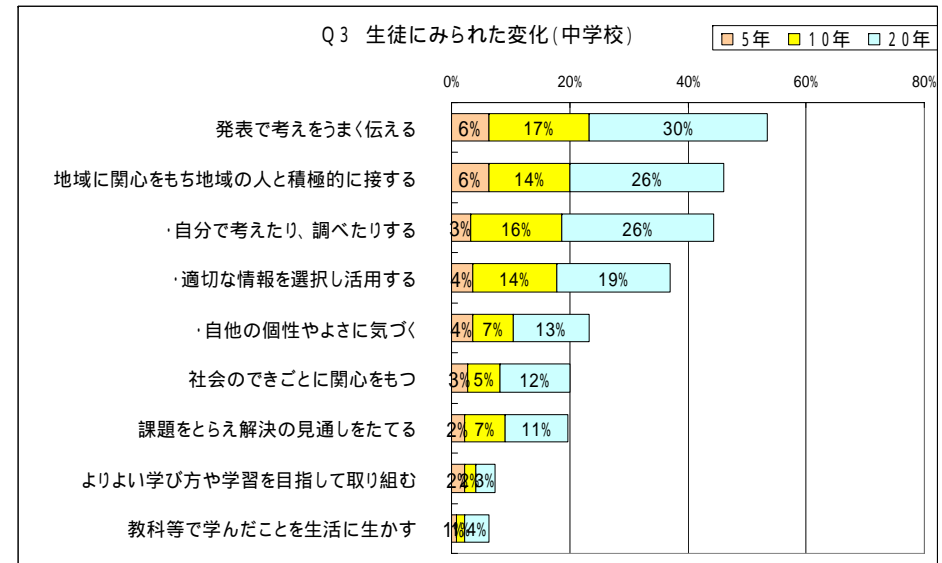
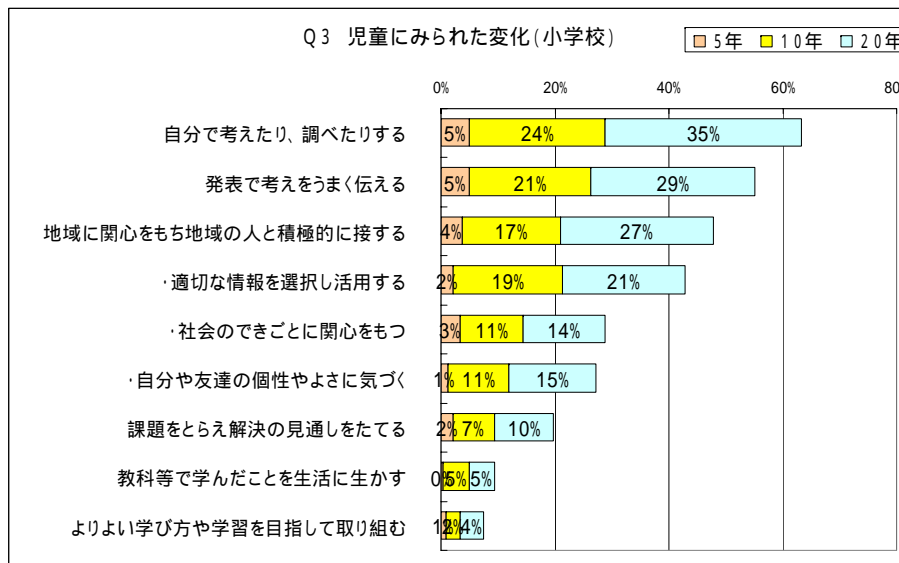


3 児童生徒にみられた変化

自分で調べたり考えたりすることや、考えをうまく伝えることができるようになってきている。
学んだことを生活に生かしたり学習を発展させたりすることは十分ではない。

約5割の教員が、「報告や発表などで考えをうまく伝えられるようになった」と答えている。「自分で考えたり調べたりする」、「地域への関心や地域の人への接し方」も多い。一方、「よりよい学び方や学習を目指して取り組む」、「教科等で学んだことを生活に生かす」については1割に満たない。

Q3 「総合的な学習の時間」を実施する以前と比べて、児童生徒には、どのような変化がありましたか。(複数回答)



Q3 小学校	教職経験						*指導のやりがい(Q1)別					
	5年	10年	20年	計	5年	10年	20年	計	肯定	否定	計*	
Q3 児童生徒にみられる変化(小学校)	5%	24%	35%	63%	12%	52%	84%	154%	49%	10%	59%	
4 自分で考えたり、調べたりする	5%	21%	29%	55%	12%	52%	70%	134%	42%	10%	52%	
3 発表で考えをうまく伝える	4%	17%	27%	48%	9%	42%	65%	116%	36%	8%	44%	
7 地域に関心をもち地域の人と積極的に接する	2%	19%	21%	43%	5%	47%	52%	104%	31%	10%	41%	
2 適切な情報を選択し活用する	3%	11%	14%	29%	8%	27%	35%	70%	23%	4%	27%	
8 社会のできごとに関心をもつ	1%	11%	15%	27%	3%	26%	37%	66%	19%	6%	25%	
6 自分や友達の個性やよさに気づく	2%	7%	10%	20%	5%	18%	25%	48%	17%	2%	19%	
1 課題をとらえ解決の見通しをたてる	0%	5%	5%	9%	1%	11%	11%	23%	7%	1%	8%	
9 教科等で学んだことを生活に生かす	1%	2%	4%	7%	2%	6%	10%	18%	6%	0%	7%	
5 よりよい学び方や学習を目指して取り組む	0%	2%	1%	3%	1%	4%	3%	8%	3%	0%	3%	
10 10その他	0%	2%	1%	3%	1%	4%	3%	8%	3%	0%	3%	
									79%	21%	100%	
									191	52	243	

Q3 中学校	教職経験						*指導のやりがい(Q1)別					
	5年	10年	20年	計	5年	10年	20年	計	肯定	否定	計*	
Q3 児童生徒の変化(中学校)	6%	17%	30%	53%	14%	30%	66%	117%	30%	22%	52%	
3 発表で考えをうまく伝える	6%	14%	26%	46%	14%	30%	57%	101%	26%	20%	46%	
7 地域に関心をもち地域の人と積極的に接する	3%	16%	26%	44%	7%	34%	56%	97%	27%	16%	44%	
4 自分で考えたり、調べたりする	4%	14%	19%	37%	8%	31%	42%	81%	21%	15%	36%	
2 適切な情報を選択し活用する	4%	7%	13%	23%	8%	15%	28%	51%	17%	6%	23%	
6 自他の個性やよさに気づく	3%	5%	12%	20%	6%	12%	26%	44%	14%	5%	19%	
8 社会のできごとに関心をもつ	2%	7%	11%	20%	5%	15%	23%	43%	14%	5%	19%	
1 課題をとらえ解決の見通しをたてる	2%	2%	3%	7%	5%	4%	9%	16%	5%	2%	7%	
5 よりよい学び方や学習を目指して取り組む	1%	1%	4%	6%	2%	3%	9%	14%	5%	0%	6%	
9 教科等で学んだことを生活に生かす	0%	1%	2%	3%	0%	2%	4%	6%	1%	2%	3%	
10 10その他	0%	1%	2%	3%	0%	2%	4%	6%	1%	2%	3%	
									55%	45%	100%	
									120	99	219	

Q3 児童生徒にみられた変化

小・中学校ともに、回答が4割を超えたのは、「自分で考えたり調べたりする」、「発表などで考えをうまく伝える」、「地域に関心を持ち地域の人と積極的に接する」である。「適切な情報を選択し活用する」も約4割の教員が回答している。

・調べて表現するという学習が行われており、そうした学習を通して、自分で考えたり調べたりする態度や、必要な情報を集めたり工夫して表現したりする力が身についてきているととらえている教員が多いものと思われる。また、地域に出て調査活動を行ったり施設等を訪問したりする中で、地域の人やものに学ぶ姿勢や態度が育ってきているととらえている教員も少なくない。

「課題をとらえ解決の見通しや計画を立てる」は2割、「よりよい学び方や学習を目指して取り組む」、「教科等で学んだことを生活に生かす」は、それぞれ1割に満たない。学んだことや学び方を生活に生かしたり、学習を発展させたりすることを教員がとらえることが難しいこと、また、そうしたことが教員や児童生徒にあまり意識されないまま学習が行われていることなどが、理由として考えられる。

・総合的な学習の時間においては、主体的な学習態度の育成や、教科等で学んだことがその後の学習や生活に生きて働くようになることが大切である。そのような児童生徒の姿をとらえるのは難しいことではあるが、児童生徒自身が学習の見通しをもって主体的に取り組んだり、よりよい学び方や学習を目指したりしていけるよう、評価と指導の充実を図っていく必要がある。